

校内は発見がいっぱい!!

校長 武井 正明

昨日昼休み。ボール遊びで賑わう体育館を覗いてみた。

すると、3年生野球部員と面影が重なる1年生男子が「いつも兄がお世話になってます」と挨拶してくれた。兄想いの、最高に可愛い弟じゃないか。きっと大人になると、いい相談相手になってくれるよ。弟を大切にしていってほしい。

そのうちバレーボールで遊んでいる1年女子2人の仲間に入れてもらった。次第に人数が増え6人になった。なにやっても楽しくコロコロ笑う。こういう楽しい雰囲気だーいすき!! 体を動かして、良い気分転換ができた。

そして今日4限は、1年3組齋藤先生の国語を参観させていただいた。

詩『風の五線譜』これを彼女は新卒の感性で、どう解釈し、どのように子どもたちに伝えていくか、興味津々だった。

それが参観してみて嬉しくなった。

教務室で学年事務等の仕事をしている忙しそうなお先生の表情と全く違って、教室での齋藤先生の子どもたちとのやりとりが、実に生き生きと、楽しそうなのである。

今回は詩を鑑賞するうえで抑えておきたい詩の形式や表現技法。

これらを齋藤先生の問いに対して3組の生徒達も、率直に反応する。わからないところはわからないと言い、「ああ!!」といった気付きの反応のセンスもいい。いいキャッチボールになっている。これは授業者を乗せてくれる生徒達だ。



中には敢えて学習プリントには書かずに別紙に用語を書き、復習でプリントに書こうと先を読んでいる生徒もいた。そう、学習とは指示に従ってやっているだけじゃ何にも面白くない。自分で考えて、工夫して、やってみる。

わからないことは「わからない」と素直に言っていっていい。一番ダメなのは、わからないのにわかったフリってやつ。先生をどんどん質問攻めにするくらいでいい。先生たちは元々教えたくて仕方がないのだから。

私も専門教科は国語。齋藤先生と一緒に勉強していくつもりです。今度はどの学級にお邪魔しようかな？

